定例教育委員会会議録

（令和７年４月７日開催）

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日　　時　令和７年４月７日（月）
15 時 00 分～
場　　所　岡谷市役所６階　605 会議室
署名委員　林教育委員、轟教育委員

○　開　　会

○　教育長選任あいさつ

○　異動者（転入者）あいさつ

【 次　　第 】

○　開　　会

○　教育長報告

○　議　　題
１．令和７年度 岡谷市教育委員会基本方針について【資料 No. 1】　（各課）
２．岡谷市指定文化財の指定について【資料 No. 2】　（生涯学習課）

○　報　　告
１．令和７年度 教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料 No. 3】　（各課）
２．令和７年度 教育委員会予算について【資料 No. 4】　（各課）

○　そ　の　他
・行事等について（各課）
・その他

出席委員
教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎、教育委員 轟 美緒

事務局（説明員）
教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 村松 晋、
教育総務課長 荻原 浩樹、生涯学習課長 三澤 達也、スポーツ振興課長 味澤 勝一、
教育総務課 教育企画主幹 西山 塁、学校教育主幹 新村 尚志、美術考古館文化財主幹
秋山 仁志、スポーツ振興主幹 安仲 智恵子、教育総務課事務員 渡辺 凱

＜会議録＞

〇開　　会

宮坂教育長　　それでは、４月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は、林教育委員、轟教育委員にお願いしたいと思います。

〇教育長報告

宮坂教育長　　初めに、私から報告をさせていただきます。

４日の日は二十四節気の清明でございました。清く明るい、名前のとおり、清々しい春の息吹、万物が清く明るく見えるような、この数日を表すような言葉かなと思います。私が小学生の頃に担任の先生が黄色い花は春を連れてくる、そんな言葉を教えてくれました。福寿草を筆頭にロウバイなど、本当に近頃は黄色の花が目につくところであります。横河川の桜ももうしばらくすると、ということで春爛漫が間近であります。

子どもたちの姿から。ちょうど年度をまたぐところでございますが、何点か紹介させていただきます。まずは、卒業証書授与式と先日の入学式での告示、本当にありがとうございました。どんなことを思われたのか個人的に聞いてみたいな、そんなことを思っているところであります。

３月 18 日に小学校、19 日に中学校の卒業証書授与式がございました。当たり前の風景、教育委員会の告示がある風景、そして全校児童の生徒が参加できる風景、歌声や呼びかけがある風景、当たり前の風景が本当に戻ってきてありがたいな、そんなことを思ったところであります。私は湊小学校と西部中学校の卒業式を見させていただきました。湊小学校は、人数が少ないわけですが、一人ひとりが主人公となった本当に温かな素敵な卒業式でありました。また、西部中学校の卒業式も凛とした中で行われ、そこにおいでの村松先生、校長先生として式辞をお話いただきました。式の途中、子どもたちの歌声の中で１名の担任が感極まって涙する、お一人は涙するというより号泣しており、そんな姿を目にすることがあり、子どもとの関わり合いの深さを感じたところであります。一番嬉しかったのは、各小中学校で不登校児童生徒に対する配慮がとても温かかったということです。校長室で卒業式を行っていただきました。本当に各学校の対応に感謝であります。

４月４日、入学式がありました。私は岡谷東部中学校と長地小学校に参加させていただきました。中学校は本当に初々しく、この間まで６年生だった子どもたちの入学式でありました。東部中学校は校歌を、合唱部の子どもたちが歌いました。とても気持ちが入っていて、聞いている子どもたちは、とてもいい表情で聞いていたところが印象的でありました。また、学校長の式辞と学年主任の先生の話の中では、大事なことを話していただきました。自分を大切に挑戦することの尊さ、そして困ったら人に頼ろう、

宮坂教育長　　そんな大切なことを言っておりました。おそらく１年生はとても安心して学校生活を送れるのではないかなと思います。

長地小学校では、地域で学校教育を支える雰囲気がとても溢れている入学式となりました。教育に寄せる愛、そして確かな学校文化を感じ、また６年生の所作の良さや先生方のチームワークの良さを感じたところであります。令和６年度の卒業証書授業式には南部中学校に、令和７年度の入学式には、西部中学校に早出市長さんに出席していただきました。「市長さんに出席していただき、とてもありがたい」、そんな声も聞こえてきたところであります。

いよいよ令和７年度がスタートしたわけですが、より一層子どもを真ん中に置いた教育を展開するとともに、子どもたちの笑顔と活力が溢れる学校、そして地域の皆様とともに創り上げていきたい、そんな思いを強くしたところでございます。

それでは続きまして、生涯学習課から報告をさせていただきます。

３月 15 日に信州大学山岳科学研究拠点の瀧井暁子 先生をお招きして、「ツキノワグマを知ろう」と題して生涯学習大学が開催されました。

長野県は森林や里山が多いことから、どこでクマと出会ってもおかしくないというお話や、クマと出会わないためにはどうすれば良いのか、もし出会ってしまったらどのように対処すればよいのかなど、大変参考になるお話を聞くことができました。また、先生にはツキノワグマの毛皮や頭骨、爪などを持ってきていただき、聴講者の皆様も興味深そうに見たり触ったりされていました。近年はクマによる被害や人里近くへの出没などのニュースが多く報道され、岡谷市でも目撃情報が多数報告されるようになりましたので、正しい知識を身につけ、適切な対応を心がけることが必要であるとのことでありました。

最後に、スポーツ振興課から報告させていただきます。

今年度の主要事業の一つとして、市民総合体育館の大規模改修工事を予定しております。この改修工事は令和 10 年に開催される国スポ全障スポに対応するとともに、施設の長寿命化を図り、安全、安心な施設環境を確保するものであります。本年度から２カ年にわたり実施いたしますが、工事期間中はできる限り利用者に迷惑をかけないよう、スワンドームと東体育館のどちらか一方は利用できるようにしてまいります。利用者の皆様にご協力いただく中で、安全に工事を進めていきたいと考えております。

私からの報告は以上でございます。ただいま報告しました内容に関しまして、教育委員の皆様から何か質問等はありますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございました。

〇議　　題

１．令和７年度 岡谷市教育委員会基本方針について

＜令和７年度 岡谷市教育委員会基本方針について事務局より資料No.１に基づき説明＞

小平教育委員　　生涯学習の重点項目の中に、移住者を対象とした「知る暮（シルク）らしおかや」講座の実施は、重要なことで、必要とされている取り組みと感じました。今まで教育委員会の取組で移住者を対象とした取り組みはなかった印象ですが、この事業の経緯や教育委員会以外で移住者への取り組みを行っている課があるかと思いますが、連携はどのようになっているのでしょうか。

事務局（三澤）　　移住の関係は他の課でもやっていますので、連携を図りながらより良い岡谷市をＰＲできるよう取り組んでいきたいと思っています。移住者にとって、子育て世代にとっても魅力ある助成補助等をしっかり知っていただき、そしてより良く暮らしていただくための講座を開催し、多くの方に来ていただけるような環境づくりを進めてまいりたいと考えています。

事務局（白上）　　こちらの講座は、職員による出前講座として行う予定です。申し込みのあった内容により担当課の職員が出向き、講師となって説明していくこととなります。

小平教育委員　　岡谷市は若い世代の子育てに向いている場所だと印象を持っていただくことと、生涯通して暮らしていくなかで、高齢になっても楽しいところがたくさんあると感じておりますので、出前講座で印象付けられ期待できると感じました。

太田教育長職務代理者　　この事業はいいものだと思っています。この事業は６年度から実施していたのですか。

事務局（白上）　　令和７年度からの新規事業であります。出前講座は従来から行っていますので、似たような形で行っていたものもあるかと思います。今回は移住者を焦点にあてておりますので、初めてということであります。

太田教育長職務代理者　　充実した内容になっていくことを期待しております。今のところはどの位の方が来られるのを想定されているのですか。

事務局（白上）　　１回約10名を想定しておりますが、人数制限をすることはせず職員が講師を無料で行いますので、柔軟に対応ができると思っています。内容もいろんなことを知りたいというご要望があれば、柔軟に対応できると思っているので、回数もできるだけご希望に沿えるよう考えていきたいと思っています。

太田教育長職務代理者　　わかりました。おそらく日本人の移住者が対象だと思いますが、最近外国の方も増えています。そうような方は岡谷市国際交流センターで別途行うということで、ここでは対象ではないということでよろしいでしょうか。

事務局（白上）　　移住をしていただき岡谷市に住民票を置いて住んでいただく、人口対策

事務局（白上）　のところも大きな考え方の１つでありますので、今のところはそういう考え方であります。

轟教育委員　　私も一番興味を持ったところで、岡谷市に限らず、市からの人口の流出、人口減少を踏まえると移住者が少しでも増えればいいと思っています。メディアでも成功例を目にすることがあって、受入体制を整えたことから増えたと聞くと岡谷市でも増えればいいなと思っていたところです。実際にこれまで、年にどれくらいの方が移住して岡谷市に住んでいるのかわかりますか。

事務局（白上）　　すみません、今手元に資料がありませんので申し訳ございません。

轟教育委員　　これについては期待をしておりますので、力を入れていただきたいと思います。

　もう一つ、スポーツでプロスポーツとの連携で、改修工事の話があったかと思いますが、その場合、先日行われたようなスワンドームを使ったプロスポーツの開催というのは可能なのでしょうか。

事務局（安仲）　　改修工事があるために、来年度のスワンドームは３月の終わりに仮予約を一回入れているような状況であり、秋ぐちの開催は難しいということで、チームにお話をさせていただいております。

　練習につきましては、来年度は東体育館が使えますので、できる範囲で要望あれば受け入れてまいりたいと思っております。ホームゲームは１回、年末にできればというところであります。

藤森教育委員　　学校教育の関係で、「相即不離」という言葉が使われていて、調べてみると、切っても切り離せない、互いに密接にある意味合いだと思っています。学力保障と成長保障が相即不離という関係にあって、学校教育の基本、根幹になっていると捉えさせていただきました。言葉として学力保障は分かりやすいと思いますが、成長保障は子どもたちが成長する環境を整えていくという意味は分かるのですが、成長というといろんな意味で広い印象があるので、例えば、ここの方針で掲げている成長保障について、具体的な取組や目指しているものを補足的に説明していただけるとありがたいです。

事務局（両角）　　相即不離については、最初の教育大綱、それから県にならって基本方針を平成27年くらいから作り上げようとした当初から、岡谷市の学校教育が一番大事にしている考え方でありまして、当時の岩本教育長が大事にしていた言葉が相即不離、切っても切り離せない関係性を持つ、学力保障と成長保障ということで、義務教育の要と思っております。

　成長保障とのお話をいただきましたが、これは学校教育全体で在籍する児童生徒をどのように育て上げるのかという取り組み、日々の営みでありますので、これは補足という意味ではなく、これから第一学期が始まり、

事務局（両角）　学校生活の中での成長を促していく活動のあらゆるものが成長保障につながっているようなイメージになると思っておりますので、重点項目にあげるのではなく、総論としては様々な取り組みを通して、学びと成長を促していくことが学校教育の要かなと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

藤森教育委員　今の説明で理解できました。学力と成長の保障を様々な取り組みを行うことで実現していくとのことで事業を進めていただきながら、我々も一緒になって行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

林教育委員　移住のところで、ブランド推進協議会に出席していますが官民一体になって移住者への働きがけなどを行っていますが、どこの行政も移住者に対して、まちの魅力を発信し、来てもらいたいという取組は行っています。

官民一体でＰＲしていくことは大事ですが、実際に岡谷に来ようと思った場合、行政サービスがどのようなものがあるか、具体的な部分でこのような講座で移住希望者の方に知っていただくことで、期待もできるため、大切なことだと感じていますので、ぜひ協議会とも連携をしていただいてやっていただければと思っております。

そしてスポーツの方ですけれども、滋賀県に視察に行かれるということで、自分の小学校のときに「やまびこ国体」が開催されたことを覚えています。競技を見るのも大切ですけど、住民の方が参加できる環境、士気がどれだけ盛り上がっているかなど見ていただいて、参考になるものは吸収していただき、よい大会になるように進めていただければと思います。

藤森教育委員　これから視察に行かれることだと思いますが、私が小学校のとき岡谷市は９人制のバレーボールだったと思いますが、学校で見学に行ったことを覚えています。鮮明な記憶が残っており、私もスポーツをやっていましたので、人生の中できっかけになるかもしれません。教育委員会として子どもたちに残してあげられるものも含めて考えていただければと思います。例えば生涯学習課では、来ていただいた方に岡谷市の文化、芸術についてもアピールすることもできると思いますし、教育委員会全体で捉えていただくと、いいものができると思いますので、よろしくお願いします。

事務局（白上）　今回の国民スポーツ大会は非常に長い期間の開催となります。１月のアイスホッケーから始まり、夏には綱引き、トライアスロン、それから卓球、身障者の卓球競技が岡谷市で行われますので、市民の皆さんにも協力をいただきながら、楽しんでいただきたいと思っています。また今年度は体制を強化するため、国スポ・全障スポ推進室ができました。競技ごと実行委員会も立ち上げ、検討も進めていきたいと思っています。教育委員の皆さんにもご意見をいただきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

太田教育長職務代理者　続けて、スポーツ振興課にお願いします。「おかやキッズ運動大好き事業」はよい事業だと思っています。外遊びが少なくなったお子さんの体力の低下も毎年言われていますし、また自分の体をどう使うか、小さい頃から少しでも体得するというのは非常によいことだと思います。全校の１、２年生で実施するとのことで、大変とは思いますが、１クラスあたりどのぐらいの回数を年間で実施する予定か教えてください。

事務局（安仲）　１クラスに対して年６回開催を予定しています。１年、２年生で、今年は25クラスが、それぞれ６回ずつ行うこととなっております。

太田教育長職務代理者　たくさんの回数の実施ということで、よろしくお願いします。

それから学校教育で、「ウェルビーイング実践校（トコトン）への挑戦」ですが、私も期待をしています。概念的にしか理解ができていませんが、川岸学園の形で進めていく、幼保小中の学びの連携を中心にしながら、将来的に市内全校に広げていくことがテーマであることは理解しています。

この事業をどのような形で進めていくのか、経験のある井出先生が中心となり進めていくことには期待していますが、川岸学園については、全市的な注目度や期待感もあることは理解をしています。直接関係してくるのは川岸地域の皆さんだと思います。

トコトンの取組から全市に広げていくことは、おそらく聞いたことがない方や、聞いたとしてもそうなのかで終わってしまっている方も多いと思います。これから一歩一歩、具体的に進めていくなかで何らかの形で市民の皆さんに情報を発信していただく、そのことで川岸学園についての理解、その先の市内全域への展開の理解も進むと思いますし、市民の皆さんの協力や意見の反映などつながっていくことが、よりよい形の一つのポイントではないかと思っていますので、途中経過でも発信ができることがあれば、お願いしたいと思います。

また「地域に支えられ、ともに歩む学校づくり」も、これからの時代、非常に大事なところと思っています。私も今、岡谷田中小学校のコミュニティスクールに参画させていただいていますが、学校間によって、少し取り組みの形が違ったり、差があったりすると思います。今後コミュニティ・スクールをどのように行っていくかだと思いますが、これ以外でこのテーマにおいて、今年はこう進めたいとか、展開したいなど内容があれば教えていただきたいです。

もう１点は、ここに今非常に重要になっている部活動の地域移行がどの程度あるのかも含めて、教えていただければと思います。

事務局（両角）　色々な意味を込めて挙げさせていただきました。まずは部活動の地域クラブへの移行、これはできるところからと方針を定めて、一気にできる地域ではありませんので、地域の担い手の皆さんとのマッチングができたと

事務局（両角）　ころからやっていきたいと思います。先日、文化系の活動をされている方とお話をするなかでは、例えば、合唱関係の皆さんも地域の受け皿としてお考えいただいているということも始まっておりますので、多面的な部分で学校とのつなぎを作っていくところかと思います。

また、放課後の居場所づくり事業を全域で行っております。創設期からずっと関わっている皆さんが毎年歳を重ねておられるという現状でございます。高齢化が一番の課題であって、昨年度から高校生のボランティアも入り、次回につなぐようなチャレンジもしておりますが、学校によっては若手の皆さんも加えて一緒に楽しくやっているところもありますので、そうしたノウハウを共有して、持続可能な居場所づくり今後の課題として取り組んでいきたいというところもあります。

また、コミュニティスクールについては、川岸学園の部会の一つでも検討しておりますが、現在の学校評議員制度は、制度に基づく環境でありますが、信州型コミュニティスクールを長野県では推進し、岡谷市は選択してきた歴史があります。

国型の協議会制度に移行していきたいと川岸学園構想のなかでも位置付けたものであります。川岸学園構想をパイロットモデルと従来から言っておりますが、これをベースにしながら全域に展開していき、そこにトコトンの先生が関わって、どのようなつくりがいいのか一緒に研究をしながら形をつくっていきたいと考えております。

轟教育委員　学校教育で多様性に対する考え方が、最近変わりつつあるのかなと思っています。クローズアップされて以来、教育現場でも浸透され、最近ではその対応がよいことばかりではないと感じています。マイナス面も挙げられてきていると感じています。決して悪いことばかりではないと思いますが、多様性を盾にして「わがまま」ではないのかなとも感じる場面もありました。

タブー視され、言えない風潮もあったと思いますし、多様性を認めなくてはいけないことが大前提にあって、逆のマイナス面が少し出てきている場面もあると感じているのですが、一気に同じ方向に走り出すことは、いろんなことであると感じていますし、その意見が出たことで、すべてストップしてしまうことは違うと思うので、多様性に配慮するようになった過程は非常によいことだったと思うのですが、今後の多様性の対応の仕方を考えなければいけない、慎重にならなきゃいけない場面も出てくるのかなと思っています。

学校現場や様々な場面で今後も続くわけですが、また違った対応の要求がある場面もあるのではないかと考えています。よいバランスがあるのではないかなと考えています。

宮坂教育長　　多様性の問題は突き詰めれば突き詰めるほど難しく、集団での学びから無理しない程度で行っていくことの兼ね合いが難しいと感じております。一番大切なのが個々の人権を互いに認め合いながら、その子らしさ、自分らしさ、相手らしさを認めていくことを外さないように考えないといけないと個人的には思っているところであります。

それでは、令和７年度教育委員会の基本方針を教育委員会として承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

＜承認＞

２．岡谷市指定文化財の指定について

＜岡谷市指定文化財の指定について、事務局より No.２に基づき説明＞

太田教育長職務代理者　　獅子頭は大神楽に使われたということで、お面も同じように諏訪の神楽に使われたものと推定されているのでしょうか。また、これから保存するということですが、どのように保存されるのかを教えてください。

事務局（秋山）　　新倉のお祭りで使用していたと聞いておりまして、保存については新倉区で保存していきます。新倉十五社神社の湯立神楽というものがあり、諏訪大社の流れをくんでいたと推測され、諏訪神楽の重要な鍵を握るという分析をされているということです。

藤森教育委員　　県の文化財などあると思うのですが、市の文化財に指定されることにより、何かインセンティブが得られるとか、何かが違ってくるのか、指定されたという事実だけなのか、教えていただきたいです。

事務局（秋山）　　指定されますと、岡谷市指定文化財と名乗ることができるということがあります。市の台帳に記載されますし、修繕や修理する場合に、市の補助金が申請できるという形になります。

藤森教育委員　　市が指定した文化財でありますので、保全がされやすいということが分かりました。

私も川岸に住んでいて初めて知ったのですが、市民の皆さんに知っていただく機会も今後必要だと思いますので、ご検討をしていただければと思っています。

小平教育委員　　諏訪神楽があったということを私たちは忘れてしまっているということではないかなと思いますが、美術考古館で神楽展を行ったことがあると思いますが、地域に現存する神楽があると思いますので、岡谷の太鼓の団体が多くあると同じように、文化は伝承されていくものだと思います。諏訪神楽があったことは当時の人たちの様子などわかる機会にもなりますので、展示など検討いただければ、当時の思いに馳せ、歴史のことも学ぶことができるので、保存される方法としては、考古館の中ではなく地域の

小平教育委員　　方々が保存するという形なのですか。

事務局（秋山）　　基本的に指定文化財の関係については、所有者の方がいらっしゃいますので、例えば仏像など指定については、お寺で管理をしておりますので、基本的には所有者の方が管理をしていくこととなります。

神楽の話もありましたが、お面自体の指定は全国的にも少なくデータベースを見ても20点位しかないと聞いております。また神楽自体のお祭りは無形の民俗文化財として指定されていることは多くあるという状況でありまして、長野県でお面の指定は上田市の１件のみであります。

宮坂教育長　　それでは、岡谷市指定文化財の指定を教育委員会として承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

＜承認＞

○報　　告

１．令和７年度 教育委員会事務局職員定期人事異動について

＜令和７年度 教育委員会事務局職員定期人事異動について、事務局より No.3 に基づき説明＞

２．令和７年度 教育委員会予算について

＜令和７年度 教育委員会予算について、事務局より No.4 に基づき説明＞

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

宮坂教育長　　ありがとうございます。
それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（荻原）　　次回の定例教育委員会は
５月９日（金）９時30分から202会議室を予定しています。
よろしくお願いいたします。

宮坂教育長　　ありがとうございました。

16時20分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第２０条により署名する。

令和　７年　５月　９日

教　育　長　　宮坂　亨

署名委員　　林　慎太郎

署名委員　　轟　美緒

調製職員　　白上　淳